



しこく



We Serve

District 336-A of Lions Clubs International Association

1・2・3

No.3

2015.第89号
平成27年2月10日発行





話かけることによって共有できる物を…

クラブ・ワン・人が一人を誘う



地区ガバナー

木内 千春

カナダトロントに於いて第97回国際大会が開かれ7月8日国際大会最終日にガバナーエレクトからガバナーに選出されてもう半年が過ぎました。10日間という長い講習会の後の事でした。日本に帰るとクラブ公式訪問の日々が続きました。私個人はともかくキャビネットの皆様には忙しい日々を過ごさせるハードなスケジュールでした。心から感謝申し上げます。ハードな中にも月日は過ぎて行きました。振





り返って見てスタッフの協力があって始めて出来る事でした。年も変わりました2015年が始まります。心を新たにスローガンの通り「新たな気持ちでウィサーブ」で思いの丈を精一杯の気持ちでぶつけて前に進みたいと思っています。家族会員の事も胸に引かかっています。ジョープレストン国際会長の「アスクワン」一人が一人を誘う、声をかけてみる、ライオンズの事を話してみる、ボランティア・奉仕の事を話してみる、ライオンズクラブの楽しいことを話してみる、話し掛けることにより共有出来る物をさがす、その時に賛同を得れば私たちは仲間を一人誘うことが出来る。会員増強はライオンズクラブ永遠のテーマです。年が変わりますと年次大会の事が始まります。大勢の方々が仕事を分担し4月11日、12日に向かって進みます。私たち徳島キャビネットの仕上げる行事です。来て、見て、食べて、一緒に踊ってみまへんか」このキャッチフレーズの通りにやりたいと思います。第61回の年次大会は参加ライオンズが全ての面で満足して帰って頂けるように精一杯の努力を徳島キャビネット一同心がけ頑張ります。ぜひご参加、ご協力よろしくお願い申し上げます。この一年、会員の皆様の幸せを祈って筆を置きたいと思います。

新たな気持ちで We Serve

誇りを高める

Strengthen the PRIDE

Contents

表紙2 ガバナー指針

- 1 ガバナー指針・Contents
- 2 元地区ガバナー荒瀬孝之特別寄稿
- 4 各クラブアクティビティ
- 15 地区コーディネーターからの報告
- 16 委員会報告 GMT・GLT・会則・プロトコール委員会
- 18 委員会報告 PR・ライオンズ情報・大会参加委員会
- 19 委員会報告 青少年・LCIF・地域奉仕委員会

20 委員会報告 YCE・国際関係委員会

- 22 YCE生の受け入れ
- 24 日韓学生親善文化交流
- 26 クラブ紹介 松山つばき
- 27 伊達甲冑説明文
- 28 地区会員状況

表紙3 物故者の報告・編集後記

裏表紙 国際大会PR

- 表紙 「金茶糸威五枚胴具足」
- 写真 公益財団法人宇和島伊達文化保存会

ライオンズの誓いについて

336—A地区

元地区ガバナー・地区名誉顧問

荒瀬 孝之



ライオンズクラブ入会以来例会開会ゴングの後ライオンズクラブの歌斉唱に続きライオンズの誓いを朗唱して五十年を目前にして考えさせられることが色々と出てくる今日このごろである。今まではただ前奏につづいて歌い誓いの朗唱をするのみで、はたして誓いの文言の様に日

常生活の中で実践しているのかここ十数年不安と自問自答の日々である。それは一つに知性の高揚、二つに友愛と寛容の精神の醸成、三つに平和と自由の探求を目指すのである。その基礎にあるものはウィサープへの精進である言い馴れた「寛容」のくだりが国際協会の方針を受けて日本で何の反論もせずに「相互理解」に読み変えることに成った時には多くの会員より疑問や反論があったと聞いていたが私もその一人でありその後——寛容の精神——と唱和することも度々ありました。何よりもリズムミックスに抑揚がつき弾む韻律が定着していた。実用の面から言えばこの種のはリズムが必要なのである——ユウアイトソウゴリカイノセイシンヲヤシナイ——では語呂が合わず破調になってしまふと思います。

そんな折ライオン誌一九九四年八月号の「獅子吼」に掲載された「寛容」の軌跡に思うの文面読んでこの「寛容」をめぐる情念と言って良い程パッションな文章に深い感動を覚えたことが今も私の脳裏に残っています。年齢も同じくらのライオンだろうと安堵感を得たことは大きな収穫であった。その後色々な資料をみる中で「相互理解」の文言が国際協会の中でも問題に取り上げられたときき又国際連合教育科学文化機関憲章（一九五四年）の前文——相互に理解し及び相互の生活を諸人民が相互に知りかつ理解することを促進する……のくだりである英文和訳の際ライオンズの誓いの場合は単純な関係ではなく隣人同志から地域、府県、国そして国際関係にまで広がりを見定しているだろう「理解」というのは理ヲ説キ分ク



ルコトであり「相互理解」と言っても互いにわかり合える——という意味にとどまってしまうのであるところで「寛容」とは心ユルヤカニシテ善ク人ノ事ヲ受ケ容ルコトと説くのであるが辞典が開設する以上に深奥な広がりの中に求めることができる未成熟な「相互理解」よりもより日本的な「寛容」の方が数段すぐれている。「寛容」なるが故に相互理解が生きてくるのではないか。

しかし今になってはどうすることよりも相互理解を定着している今日日本語辞典に掲載され唱和していることに私自信安堵するものです。「相互理解」一つにしても英文を和訳にする場合でも日本語と英文双方に充分理解出来ることはむしろかしいのではないだろうか。ライオンズクラブのすべては英文を日本語に翻訳されたものであることは皆さんすでにご承知のはずです。心して規約会則等にはご注意されて活用することをお忘れなきように。私のひとりごととしてお許し下さい。

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、
友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、
社会奉仕に精進する



1R・4R・6R 各クラブ アクティビティ 紹介

第5回

少年硬式野球四国選手権大会

1R・2R

松山西ライオンズクラブ

スポーツ指導者の育成を図り、スポーツを通じた豊かな地域づくりをめざし、四国の少年硬式野球チーム34チー



ムの参加で坊ちゃんスタジアムをはじめ6球場で4月13・14・20日に開催しました。

ハートフルコンサート

in 香川県立盲学校

4R・1Z

高松ライオンズクラブ

去る12月10日、盲学校の児童生徒や教職員、地域住民の方々に参加いただき、3回目となる演奏会を開催しました。今回は弦楽四重奏による演奏を中心に、楽器を直に触れてみたり、生徒たちと合奏したりと、本当に心温まる時間を過ごす事が出来ました。



盲導犬学校キャラバン隊

4R・1Z

高松南ライオンズクラブ

小学校の児童達に、盲導犬や視覚障害についての知識を深めてもらえるよう公益財団法人日本盲導犬協会の指導員と盲導犬(P.R犬)とともに「盲導犬学校キャラバン隊」と称し、学校訪問を行っています。



「あすなるの家」への
オリーブ収穫合同事業活動

4R・1Z

小豆島東ライオンズクラブ

平成26年11月28、29日に提携ライオンズクラブである茨木ローズライオンズクラブ、神戸長田ライオンズクラブとオリーブ収穫合同事業活動を行い、事業収益の一部は「あすなるの家」へ寄付いたしました。





ライオンズの森でオリーブの栽培

4 R-1 Z

小豆島ライオンズクラブ

ライオンズの森でオリーブの栽培を行っています。

年間を通して肥料水やり、除草、剪定など様々な活動をメンバー全員で行っております。

秋にはオリーブの実を収穫してオイルや塩漬けを作り販売してクラブの事業費として活用しております。



地元の小学生とさつま芋の栽培

4 R-2 Z

高松源平ライオンズクラブ

2004年以来地元の高松小学校の1、2年生(約200)と共に約1000㎡の畑でさつま芋の植え付け、草取り、芋ほりと年3回共同でさつま芋の栽培を行っています。生徒達は野外での共同作業、そしてライオンズクラブは地元での活動状況とお互いにさつま芋を通じて親交を深めております。最近は収穫後のお礼の手紙も頂きました。



「サンタ参上!」

4 R-3 Z

東かがわライオンズクラブ

市内16の幼稚園や保育所へ14名の白髭サンタが向かうのは滑稽な光景だろうか。訪れた先の児童は突然のサンタ出現に大騒ぎ。髭を引っ張る肩にはよじ登る。夢見る素直な児童の成長を切に願って840人に紙風船を配った。



市花のコスモス栽培とまつり開催

4 R-3 Z

志度ライオンズクラブ

志度LCといえば『コスモスまつり』と言われるほど地元で溶け込んだアクティビティとなった。

どじょううどん等の接待と、まつりの日から『摘み取り自由』の美しいコスモスは好評。



地区の献血活動

4 R-3 Z

高松グリーンライオンズクラブ

献血奉仕は、地区コミュニティ保健委員会様と協議して活動しています。日程は、日赤様に出来るだけ日曜日、祭日でお願いしています。場所は、会員（上村上）の経営するスーパー駐車場です。

献血された方には、クラブより玉子、ティッシュペーパーを渡しています。

この活動は、地域の方々の協力なしにはできないと思います。感謝は忘れられません。



地域に密着した奉仕活動

4 R-3 Z

三木さぬきライオンズクラブ

三木町では毎年秋に、町主催の秋大祭「三木まんで願」祭りがあります。今年も10月に当クラブでは全員で協力して夫々の物品を出しました。新しく試みたのが、三木町と姉妹都市で互いの職員の出向交流のある、北海道七飯町の協力により産地直送特産品のリングとじゃがいもを加工した「まるまる販売したところ、珍しさで美味しさと友好の温かさを感じて頂き、大盛況のうちに完売しました。これからも地元に着した奉仕活動アクティビティを行政と連携して積極的に行って盛り上げていきたいと思っています。



祝日には国旗掲揚を

4 R-3 Z

長尾ライオンズクラブ

長尾LCは、今年度結成51周年。45周年記念事業に「祝日には国旗掲揚」アクトを掲げた。エリアの中央に位置し、地域の方々に親しまれる大鉢山（標高121m）頂上に国旗掲揚台を設置。以来毎祝日に国旗掲揚を継続。



第36回

紫雲ふれ愛ボーリング大会

4 R-4 Z

高松紫雲ライオンズクラブ

毎年、肢体不自由児者と介護する家族の方に、日頃楽しむ機会の少ないスポーツを通してリフレッシュしていただこうと行なっている。

補助器具を使つてのボーリングの後、紙芝居の鑑賞や、ビンゴゲームを行い楽しいひと時を過ごして頂いています。





高松屋島ライオンズクラブ 第49回秋の茶会

4 R-4 Z

高松屋島ライオンズクラブ

結成以来49年間続いているこのアクティビティは今や秋の風物詩の一つになっている。

茶席の他、点心、甘酒での接待、又各国よりの留学生も招待し参加者1000名を数える大茶会である。

玉藻公園披

雲閣(国重要文化財)で日本庭園を鑑賞しながらの一服は素晴らしいものである。



お絵かき水族館

4 R-4 Z

高松栗林ライオンズクラブ

28年前に、高松栗林ライオンズクラブが提唱して始まった高松冬のまつりが12月20日～24日まで高松中央公園で開催されました。今年は子供たちが自分で描いた魚が泳ぐ「お絵かき水族館」が、大評判になりました。



薬物乱用防止パレード (レインボーロード)

4 R-4 Z

高松玉藻ライオンズクラブ

2014年12月6日(土) 4Z合同アクティビティとして開催、当日は4Zライオンズメンバー及び地域の学生や

一般の方々にも多数のご参加いただきました。イルミネーションで彩られたロードを薬物乱用防止・麻薬・脱法ハーブ撲滅を呼びかけ、啓蒙用グッズを配布した。

ライオンズメンバーを中心に啓蒙活動を展開啓蒙用幟を掲げ警察の方々、一般の方々と共に声掛けを行った。



植樹で生命の大切さを！

4 R-4 Z

高松北ライオンズクラブ

2014年10月21日

香川大学附属中学校

高松市立香東中学校

円座百華保育園

梅の木 2本
桜の木 2本
桜の木 3本

以上を寄贈致しました。

生命の大切さを感じ、子供達と共に成長し毎年春にはたくさんさんの花を開かせて、心の豊かさを養って貰えるように、思いを込めて植樹致しました。



10周年記念事業として始めた
フォレストマッチング事業

4 R-4 Z

高松空港ライオンズクラブ

10周年記念事業として始めたフォレストマッチング事業も、今期で3年目になります。

高松市塩江町の高松空港LCときめきの森で、クラブメンバーと、県、市、森林組合、ボーイスカウトの子供達と協力して年に数回森林を整備して、山桜などの植樹をしています。



消防出初め式あめ湯接待

5 R-1 Z

丸亀京極ライオンズクラブ

1月11日(日)東中運動場にて丸亀市消防出初め式が行なわれ、寒風の中、今年はあめ湯とコンソメスープで温まって頂きました。日頃より地域防災のため尽力している消防関係の方に感謝の気持ちから始めて7回目となり、来賓や市民にも大変喜んでもらっています。参加いただいた皆様のご協力に感謝申し上げます。



感動体験「香川オリーブ
ガイナース野球教室」

5 R-1 Z

丸亀ライオンズクラブ

平成26年11月22日(土)13:00より感動体験「香川オリーブガイナース野球教室」を、地元5チームから約80名の児童を対象に開催致しました。

当クラブでは、地域の子供たちに感動を与えるアクティビティプログラムを毎年企画しています。野外教室、丸亀城探検、カマタマレサッカー教室 等など。

今年はオリーブガイナースによる野球教室です。初めにランニング、柔軟体操、キャッチボールと、ガイナースの選手と共にアップをして、次に投手・内野・外野に別れ、それぞれ練習メニューで指導を受けました。後半は感動体験ということで、子供たちにガイナースの投手のピッチング、バッティングを実際に間近で体験してもらいました。子供たちからは歓喜の



声が上ががり、さらに盗塁チャレンジを実施して頂き、保護者の方含め楽しく時間を過ごすことができました。

今回の野球教室に参加した児童の中から将来一人でも多くの甲子園球児、プロ野球選手が誕生することを願っています。

結成35周年記念事業
ウバメガシを千本植樹

5 R-1 Z

綾歌郡ライオンズクラブ

高知県大川村の早明浦ダム上流に結成35周年記念事業でウバメガシを千本植樹以来、毎年整備作業をオイスカ四国研修生と行っています。今年度は平成26年11月24日にオイスカ研修生と交流しながら除草作業を実施しました。





結成以来の餅つき奉仕

5 R I Z

坂出ライオンズクラブ

結成以来毎年実施している「救護施設清水園での餅つき奉仕」も今年で55回目となりました。

会員16名、家族2名、園生約60名の参加で「よいしょ、よいしょ」の掛け声のもと13kgのもち米を餡餅に仕上げました。

園生の皆さんが毎年楽しみにしてくれていますので、これからも継続していきたいと思っています。



野鳥保護奉仕活動

5 R I Z

坂出白峰ライオンズクラブ

2014年10月19日(日)

五色台において、坂出市立林田小学校の皆さんと一緒に巣箱作りと巣箱掛けを行いました。昭和48年から実施している毎年恒例の本事業も本年度で43回目となりました。

(写真は巣箱作りの様子)



第11回 中讃柔道選手権大会

5 R I Z

うたづライオンズクラブ

当クラブが主催となり11回目を迎えました。140名程の選手が小学生低学年から一般の部まで13階級に分かれ熱戦を繰り広げ、観戦者の熱き応援を肌身と感じ、青少年育成への一助となっている。全国大会に出場している選手もあり、意義ある開催は当クラブにとっても活力の源です。



里山登山口案内板

取り付け活動

5 R I Z

坂出シニアライオンズクラブ

坂出市内の七つの里山、笠山・金山・常山・角山・飯野山・讃岐富士・城山・郷師山の登山口十二カ所に案内板を設置しました。登山道の草刈や倒木撤去も随時行っています。

市内外からの登山者には「わかりやすい」地域の住民からは「道を聞かれることが少なくなった」と喜ばれています。



幼稚園児との芋掘り
子どもたちの笑顔がいっぱい

5 R-2 Z

観音寺中央ライオンズクラブ

昨年11月5日、観音寺私立天野幼稚園の園児たちと「さつま芋掘り」を行いました。当クラブ毎年恒例の事業で、初夏からの苗つけ、草抜き作業の甲斐もあり、大きく育ったさつま芋に園児たちは大喜びでした。



薬物乱用防止推進パレードの開催

5 R-2 Z

観音寺ライオンズクラブ

7月21日(海の日)薬物乱用防止推進パレードを行いました。「ダメ。ゼッタイ。」このキャンペーンを通して違法薬物の根絶を訴えました。未来のある子供達がかような薬物なんかに見向きもしないで下さいと願い、中学校へ出向いて行う「薬物乱用防止教育講演会」も継続して行きたいと思っています。

宮城県南三陸町
志津川小学校の生徒との交流

5 R-2 Z

こんぴらライオンズクラブ

結成35周年記念事業として、東日本大震災で被災した宮城県南三陸町志津川小学校の生徒を招待し地元小学生との交流を8月に実施。
又、11月には町民ホールで南三陸志津川LC会員による実体験の講演会を開催した。

ピアノデュオ・クトロヴァッツ
公演

5 R-2 Z

善通寺ライオンズクラブ

ピアノデュオ・クトロヴァッツ善通寺公演が、11月28日に善通寺市民会館で善通寺ライオンズクラブ主催で行われました。公演は、午前中に教育委員会が中心になって頂き、7校の小学6年生と東西中学校の1年生に鑑賞して頂きました。また、午後6時から一般公演が行われました。





大正時代の多度津町内の写真

5 R-2 Z

多度津ライオンズクラブ

大正時代の多度津町内の写真が武田寿様より提供され複写、額に入れ保存展示用として希望者に貸出する事とし



た。第1回貸出 多度津町内のカフェにて12月11日より展示



三豊市内全保育所

もちつき奉仕

5 R-2 Z

三豊ライオンズクラブ

クラブ結成当初より続けてきた奉仕事業です。今年で41回目となりました。

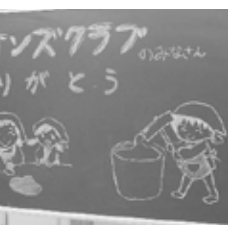
日本の伝統行

事である「もちつき」を子供た

ちに伝えていく

為毎年12月に

行なっておりま



さん・地域のボラインティアの方等に参加してもらって一緒に餅つきをすることによりライオンズクラブの活動を知っていただけるいい機会になっているのでは、と考えております。昨年よりクラブの念願でもあった三豊市内全保育所(10箇所)での開催が出来るようになりました。



SON(スペシャル・オリンピックス・日本) 高知の皆さんとの親睦ボウリング大会

6 R-1 Z

高知ライオンズクラブ

SONアスリートや家族、コーチ、クラブ会員の家族も参加し、2ゲームをプレーします。

ボウリング終了後は、表彰式を兼ねた昼食会を開催し、ボウリングのプレー同様、大盛り上がりの親睦会で楽しい一日を過ごしています。



恒例事業、
チャリティ大バザール！

6 R-1 Z

高知とさみずきライオンズクラブ

高知とさみずきLC恒例の事業、チャリティ大バザール。今年はオカリナ奏者のホンヤミカコさんにもご協力頂き、心とむひと時を味わう事ができた。出店者より売上げ20%の協力を得て青少年育成の為の良き事業となった。



高知大留学生を招き
「巻き寿司教室」

6 R-1 Z

高知桜ライオンズクラブ

11月9日8か国24名の高知大留学生を招き「巻き寿司教室」を開催した。日本食がユネスコの世界無形文化遺産に登録された事もあり学生達は興味津々の様子。一本巻き上がるたびに歓声が上がリ、その味も大好評でした。



「伊野ライオンズカップ」
少年サッカー大会

6 R-2 Z

伊野ライオンズクラブ

十五年（H11年）前6 R 2 Z 5クラブが第一回青少年育成と少年サッカーの普及を目指し子供達の心身の健全な育成と交流を目的として関わり始めた冠大会。
その翌年からは伊野ライオンズクラブが単独で運営している小学三年生以下を対象にした大会です。
高知県下の約40チーム450名が2日間に亘って激闘する大会です。
優勝、準優勝、3位、4位には各人にメダル（三年生、一・二年生は3位・4位は無とチームに表彰状を授与しているアクトです。



遍路道へのお接待木の植樹

6 R-2 Z

須崎ライオンズクラブ

3月21日、NPO法人「遍路とおもてなしのネットワーク」と共同事業として、遍路道にお遍路さん接待用に食べられる果樹を植えるため、須崎中周辺等にクラブ員、地域の皆さん総勢60名で、キンカン等の果樹計53本を植樹しました。
以上





第3回 中土佐タッチエコ

トライアスロン大会

6 R-2 Z

中土佐ライオンズクラブ

11月2日、久礼八幡宮前のふるさと海岸を主会場として、スイム、バイク、ランの公認競技が開催されました。選手は国内最終の大会で最後のポイント獲得のチャンスでもあり、気候面、コースの景観、おもてなしの良さも評判となり、北海道から鹿児島まで、全国各地から約240名の参加があり、年々盛り上がりつつあります。

中土佐ライオンズクラブは、第1回開催より年間のアクティビティの一環として取り組み、スピードが出るバイク(自転車)コースの路面掃除や応援の少ない場所に案山子人形を数体並べ応



援メッセージを添えてアピールをし、更に見学者の交通整理、選手への大声援で一段と盛り上げて、参加選手から大変喜ばれています。

「太陽福祉園」への奉仕

6 R-2 Z

土佐ライオンズクラブ

当クラブは、20年以上にわたり、障害者福祉施設「太陽福祉園」への年末アクトとして、お餅つきと門松贈呈に取り組んでおります。

今年も会員15名の参加で賑やかにお餅つきを行い、午後からは会員で門松を作り、寄贈しました。



薬物乱用防止教室の実施

6 R-2 Z

佐川越知ライオンズクラブ

二校で授業「ダメ。ゼッタイ。」の唱和も期待以上の大声。

薬物乱用が、そんなに怖いものとは思わなかった。好奇心を吹っ飛ばす話をしてくれてありがとう“の言葉が印象的でした。



ライオンズ国際平和ポスター コンテスト募集作品が2.5倍に！

6 R-3 Z

大方ライオンズクラブ

大方ライオンズクラブでは、国際平和ポスターコンテストの作品募集に1昨年から取り組み4つの小学校から23枚集まりました。昨年は4月から地道に学校を廻った結果、5小学校・1中学校から57枚の応募がありました。



第2回土佐清水LC杯

少年野球大会

6R-3Z

土佐清水ライオンズクラブ

11月16日(日)、第2回土佐清水LC杯少年野球大会(低学年)を開催しました。当日は監督や選手に昼食を無料で提供。その他の方々には販売し、その売上げを高知県少年野球連盟幡多支部に寄付をしました。



国道沿いの休憩所 清掃事業

6R-3Z

大正ライオンズクラブ

四万十川沿いに走る国道381号線は、

「絶景を走る日本百名道」に選ばれており、その沿線にあつて、眼下に四万十川見下ろす藤棚を配した休憩所の清掃管理を年2回継続実施しています。

特に桜の開花に合わせて3月下旬に開催される四万十川桜マラソンでは桜並木が川面に映える絶好のビューポイントとしてランナーが息入れる場所となっています。

ライオンズデー 薬物乱用防止運動
2014年10月8日(水)実施

6R-3Z

窪川ライオンズクラブ

毎年、町内の窪川中学校生徒約300名に、「覚せい剤たった二度が身の破滅」の標語入りシャープペンシルとパンフレット

ト、ティッシュを配布し薬物乱用防止を呼び掛けている。今年は、四万十町地域安全協議会に加え高陵薬物乱用防止推進協議会の方々にも参加して頂き活発なアクティビティとなった。



確実に根付く「平和」への想い

6R-3Z

四万十ライオンズクラブ

2003年よりスタートした「平和ボスター」のアクトであるが、その年は2校から46枚の出品であった。しかし今、11年経過した2014年は12校から515枚の作品数を数えるまでになった。これは高知県下では最大の数であり、全国的にも多いほうである。

従ってその選考会も、2名の地域の中学校の美術教師とYCE・国際関係委員会のメンバーで行うが、沢山の力作に優劣をつけるのも大変な作業である。



入賞作品はショッピングセンターの一部を拝借し、展示会を1週間実施し、最終日には四万十市教育長はじめ十数名の来賓を招き盛大に表彰式を実施する。ここまで盛大になったのは、教材販売業を営む松岡氏の功績が大きい。学校関係者との強いパイプがあればこそである。今後とも子供たちが世界平和について考える機会を作るために継続していきたい。



私たちの使命

3361A地区元ガバナー
地区LCIFコーディネーター

三谷 智省



1968年に設立されたライオンズクラブ国際財団(LCIF)は、2018年に設立50周年を迎えます。

視力を保護し、はしかと闘い、災害援助を提供し、青少年を支援し、地域社会を改善する地域的・国際的な事業に交付金を提供することにより、ライオンズが世界中で行っている善意の活動を支援しています。2012～2013年度にはライオンズ、そのパートナーと友人がLCIFに寄せた惜しみない寄付は3,560万ドル、財団が提供した交付金は489件総額

3,900万ドルに達しました。ライオンズクラブ国際財団(LCIF)は、ライオンズクラブ国際協会公認の慈善組織です。

LCIFの資金は、ライオンズが実施する事業を支援するために、交付金という形で提供されます。これらの交付金は、個々のクラブや地区の資金拠出だけでは規模が大きすぎる人道活動において、130万人の世界中のライオンズに助力します。

人道奉仕の使命は、ライオンズクラブ国際協会の中核です。LCIFの交付金は、5つの分野における奉仕を支援しています。財団の主な慈善対象は、次の通りです。

- 視力保護
 - 身障者支援
 - 健康促進
 - 青少年育成
 - 災害救済の提供
- 私たちがライオンズは誰もが同じ信念

によって結ばれています。ライオンズであることはより良い明日を信じること、変化の可能性を信じるということです。なぜなら私たちは心で奉仕しているからです。それはまた、ライオンズクラブ国際財団(LCIF)を支援する価値を信じていることでもあり、私たちは力を合わせて各地域社会と世界中に変化をもたらしています。

LCIFに対する信頼、また遠近の隣人のニーズを満たすための惜しみない資金援助に感謝いたします。私は今後も生涯にわたり、LCIFを信じ支援していく所存です。皆さんにも加わっていただければ幸いです。

LCIFへのご信頼に感謝いたします！



地域社会を改善するライオンズ

青年を支援するライオンズ



災害援助を提供するライオンズ



視力を保護するライオンズ



はしかと闘うライオンズ

委員会活動の重要性について

GMTコーディネーター

GMT・GLT・会則・プロトコール

委員長

村木 弘次



に思われるかも知れませんが、実際に入会した家族会員がどれだけ例会に出席したり、奉仕事業に参加しているかどうかは疑問に思われます。

第一回の委員会は本内ガバナリーにも出席して頂き徳島で開きました。委員さんから各リジョンでの活動報告があり、出席率の高いクラブの例会の在り方、正会員増強についての具体的な方法、退会防止策等多くの意見交換を行いました。第二回の委員会は地理的に集まり易い中間の観音寺で行いました。各リジョンの会員増強状況、家族会員について、アワードの基準等の協議を行いました。

次期委員長として次期地区委員さんとの初顔合わせは4月の委員会別研修でした。昨年度から継続する家族会員増強にどう対処するかが悩みの種でしたが、正会員の招請に重点を置くべきとの大半の意見を尊重して各クラブ純増2名の目標をたてました。家族会員についてはリジョンによって温度差があり、各クラブの事情が違うことを考慮して、判断を各クラブに任せて出来る範囲での増強と致しました。昨年と違い数字で見ても積極性に欠けるよう

今年度の委員会活動の中でどうしてもやりたかったことは、委員会独自の諮問事項を作り(2回に分けて行った)、各地区委員さんを通じて3361A地区全クラブの回答書を作成することでした。この資料の主な目的は会

員増強の目標数、会員増強の必要性、クラブ内でのリーダー育成の方法、又現在各クラブが抱えている問題点などを聞かせて頂き、今後クラブを活性化してゆく為の当委員会の役割を把握することでした。GLTに関する学習がいかに大切であり、当委員会として最も重視すべき分野であることを確信しました。回答の中で上からの目線での諮問であるとか、増強の為の成功例を示すべきだとか他にも多くの回答がありました。当然指摘があることは承知の上であり、委員会の貴重な資料として大変参考にさせて頂いております。

今後クラブ向上を図るために、濱口GLTコーディネーターと協力して、将来を担う若い会員が集まってライオンズについて自由に話せるリーダー養成スクール開催が当委員会の残された活動と考えています。

委員会活動の結果として、個々のクラブで行う事業がたとえ小さな奉仕であろうとも、地域社会に少しでも貢献できる体制造りの一環としてGMT、GLT活動があるのだと委員会の重要性を改めて感じました。特にGLT活動は決して派手なものでもありませんが、これが少しでも次年度の委員会へ貢献できればと思います。各クラブの会員の皆様のご活躍をご期待申し上げますと共に当委員会へのご協力をよろしくお願いいたします。





地区のGLTコーディネーターを拝命して六ヶ月が経ちました。

その間に、GMT・GLT・会則・プロトコール委員会が2回開催し、同委員会に出席して、各リジョンの委員さんから各クラブの素晴らしい実践状況をお聞きました。

そして各クラブにおいて行っているクラブ運営、アクティビティーなどのライオンズ活動を会員の皆さんにお知らせし、その活動が一つでもクラブの向上と新しいリーダーの発掘と育成などの手助けにならないかと思いを巡らしています。



GLTコーディネーター

濱口 仁

みんなで支えて会員維持



またGMT・GLT・会則・プロトコール委員会として三月にリーダー育成等に関する研修会を予定しています。

詳細はまだ決まってはいませんが、講演会方式は避ける体験的な方法で研修会を開催したいと思っています。

この研修会が新しいリーダーを発掘し育てることができ、ライオンズを語り合う新たな仲間ができればと思います。

新しいリーダーが知識と指導力を高めるためには時間、努力、エネルギーを注がなければなりません。

この研修会に会員皆様方と地区委員さんのご支援をお願いいたします。

「クラブリーダー養成スクール」の開催

【開催日】 平成27年3月1日(日)

【時 間】 9:30~10:00 受付
10:00~16:00 開会式・スクール
*休憩・昼食12:30分から60分

【場 所】 徳島ワシントンホテル
徳島市大道1-61-1 TEL088-653-7111

【講 師】 GLTエリアリーダー(MD334・335・336・337) 団 英男様
335-A地区GLTコーディネーター 辰巳 博昭様

【スクール内容】

- ▶ 講演
- ▶ ワークショップ形式
- ▶ ディスカッション

「国民の祝日には国旗の掲揚を！」

PR・ライオンズ情報・大会参加委員会 委員長

賀川 直



しております。前年度の委員長より引き継ぐ国旗掲揚ですが、行政も地域の学校・公共施設等も個人家庭の国旗掲揚の推進役にはなり得ていません。

国旗に対する思い入れは人によって違いますが、日本の国の歴史・文化・民族の誇りを象徴するシンボルです。どこの国の国民も国旗には特別な愛



着を持ちます。その心がない国民はいないでしょう。イギリスのエディンバラでは「ユニオンジャック」が、パリの凱旋門には「三色旗」が、アメリカのリバティ島では30帖もあるうかという「星条旗」が掲げられています。

今こそ、日本人である誇りと国を愛する心を持つことが大事な時期であることを認識してライオンズクラブ員が率先して身近な家庭から国旗掲揚運動を盛り上げ、社会一般に広げて参りましょう。

最後に本年開催の第61回地区年次大会及び各種大会には、積極的に参

日本の日の丸は古来より用いられていましたが、法律によってではなく長い間の「慣習」としてでした。明治3年に、商船規則で船舶の識別旗として定められましたが、国旗としてはありませんでした。平成11年8月の国旗及び国家に関する法律により初めて公式に日の丸が国旗であると定められました。

「日の丸の旗」は、日本人の心を表しています。ライオンズクラブでは初めての試みであります「祝日には国旗を掲揚しましょう」を今期も引き続き、各ライオンズクラブ一丸で推進



We Serve

我々は、提案する。
我々は、行動する。
我々は、推進する。



加されることで、ライオンズクラブについての認識と情報を知ることが出来、会員間の交流も深められるものと思います。木内ガバナの「新たな気持ちで ウィ・サーブ」を心に刻み、各クラブ会員の皆様と一緒に活動をいたす所存です。

今後とも、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



LCIF献金・平和ポスターコンテスト参加を

青少年・LCIF・地域奉仕委員会

委員長 田口 一男



献金目標運動に対する理解度にはいろいろあるようですが、目標達成に向けご協力を賜りますようお願い申し上げます。

全てのクラブ全員参加でLCIF献金・平和ポスターコンテスト参加を基本方針に、各地区委員の皆様と共に呼びかけをお願いし早くも半分が過ぎ去りました。

LCIFは2018年には創設50周年を迎え「LCIF創設50周年記念目標」を設定し、2012～2013年度より6年間の献金目標計画をスタートさせました。

3年区切りに前期・後期の2期に分け本年度は前期最後の年度となっております。

巨大化する自然災害・地域格差等全世界中で深刻化しており、LCIF献金により一層重要となっております。

平和ポスターコンテスト審査会において

は2014年11月18日(火)サンシャインアネックスにて午前中、地区委員他2名の方々と各クラブ作品1点について審査をし、作品展示の準備を行ない、午後より審査委員長をお願い致しました日本グラフィックデザイナー協会徳島地区幹事・岡本 幸雄氏をはじめ徳島県教育委員会・鎌田 秀幸氏、徳島新聞社・近藤務氏、四国放送・四十宮隆志氏、キャビネットより地区ガバナー・木内 千春氏ほか6名にて本審査を行いました。

多くの皆様方のご指導、ご協力により無事終えることができたに有り難う御座いました。

平和ポスターコンテストは地域社会の子供たちと共に平和・寛容さ・国際理解を強調するすばらしい機会でもありますので、今後共ご理解ご協力お願い致します。

2014～2015年度 第27回国際平和ポスターコンテスト 審査結果

応募作品数：252枚(各クラブへの応募数：5,328枚)

参加クラブ数：109クラブ

賞	氏 名	性別	学 校 名	学年	スポンサークラブ		
					R	Z	クラブ名
最 優 秀 賞	藤 原 愛 実	女	小 野 中 学 校	2	1	3	東温LC
ガ バ ナ ー 賞	水 田 健 太	男	大 津 小 学 校	6	6	1	高知桜LC
徳島県教育長賞	越 智 さくら	女	今治市立西中学校	2	2	2	今治くるしまLC
審 査 委 員 長 賞	宮 本 桃 羽	女	亀 阜 小 学 校	6	4	2	高松東LC
地区青少年・LCIF・地域奉仕委員長賞	高 島 綾 花	女	豊 原 小 学 校	6	5	2	多度津LC
優 秀 賞	川 村 遥 香	女	宿 毛 小 学 校	6	6	3	宿毛LC
	鈴 木 春 音	女	屋 島 小 学 校	5	4	4	高松屋島LC
	星 加 萌 愛	女	高 津 小 学 校	6	2	1	新居浜別子LC
	久 保 吉 平	男	潮 見 台 小 学 校	6	6	1	高知東LC
	新 川 朱梨亜	女	三 木 中 学 校	2	4	3	三木さぬきLC
	浅 山 花 菜	女	東 部 小 学 校	6	5	1	坂出シニアLC
	森 ななこ	女	三 湊 小 学 校	5	4	1	高松南LC
	吉 岡 みやび	女	土 成 中 学 校	1	8	2	土成LC
	新 田 優美子	女	松山東雲中学校	1	1	1	松山つばきLC
	住 友 丹	女	富 田 中 学 校	2	8	2	徳島吉野川LC



2014年～2015年度 YCEウインターキャンプに参加して

YCE・国際関係委員会 委員長 山本久美子



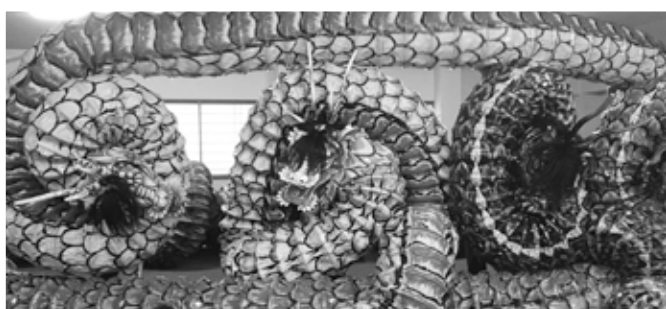
2014～2015年度冬期YCEウインターキャンプが12月22日～24日の日程で、鳥取県大山・中原スキー場で行われました。336-A地区からは、マレーシアからの来日生4名が参加しました。

全員、雪が楽しみで冬期に来日してきたため、行く途中のバスの中から大はしゃぎでした。大山はスキー場開きの日で大勢のスキーヤーで賑わっていましたが、スキーが初めての来日生達は午前中は超初心者のゲレンデで、336-B地区別所ガバナリーやコーチの方達にマンツーマンで指導を受けた結果、午後からはリフトに乗ったり一般のスキーヤーに交じってゲレンデでさっそうと滑る程に上達していたのには驚かされました。さすが、若いっていいですね！

夜は、レオクラブでもある鳥取県立日野高校郷土芸能部の皆さん

の迫力ある「荒神神楽」を鑑賞し交換会を持ちたり本格的な茶道を体験して、2泊3日のキャンプを無事に終えました。





YCE生の受け入れ

小松島ライオンズクラブ(ホストファミリー)

喜田 和彦

12月14日Adeline Yeungさんを迎へ、初対面の言葉、日本語で「こんにちは・アデリンですよろしくお願いします」、この言葉でAdelineさんとすぐに親しく溶け込めることができました。

さて、今回のスケジュールを、小学校・中学校・高等学校・大学とそれぞれの年代の青少年と交流を通して、「小学校授業」茶道「藍染め」「中学校授業」「大学留学生の日本での生活」等日本の伝統教育文化の一部を体験、芸能では、日本舞踊・日本の童謡・地元の民謡踊り・阿波踊り、等、観光では、期間中寒い日が続いていたので、近くの鳴門渦潮観光・立江寺への参拝、などの行事を実施しました。

今回YCE生受け入れに当たり

(一) 同世代の話し相手のいない我が家で大丈夫かな？

(二) 平均気温30度のマレーシアから厳寒の時期で？

(三) 食事の関係？

(四) 日常の生活習慣の違い？

等々不安な中で、日本語でコミュニケーションでき一日・二日が過ぎると、



何の心配することなく、朝は七時に起床し(本国では九時十時とのこと)、ごはんと味噌汁の朝食から始まり、一日のスケジュールは、朝食の時に説明し実施した。
(一日を退屈しないように、しかし疲れないような行事を組む)

毎日、夕食の時には、1日疲れてないですかと確認するが、その答えはいつも「大丈夫」の事で、この二週間気を遣いながら、マレーシアの事などを学ぶことができた楽しい時間を過ごすと共に貴重な経験が出来たことに感謝いたします。

各クラブにおいても今後YCE事業を積極的に参加していただけることを期待いたします。

終わりに、Adeline Yeungさんのメッセージを抜粋します。

「日本で学んだことや経験をマレーシアの友人たちに話したくてたまりません。

この交換留学を通して、今後日本とマレーシアの架け橋がさらに強まることを希望します。

そうすれば私たちはグローバルなファミリーになれるでしょう。」

「It was an unforgettable two weeks miracle...」





日韓学生親善文化交流



336-A地区キャビネット幹事

岩佐 典秀

2014年4月12日23日より28日まで、354-D地区との文化交流事業として上記の大学生・高校生が派遣されました。この事業は8月5日より12日までに行った韓国大学生の日本(徳島)を訪問されホームステイを行った返礼として行われたものであります。もとを正せば2014年の354-D地区年次大会に木内ガバナーが訪問した折に呉正鎮総裁との間で交わされた約束に基づいて行われたものであります。

◎出発に先立って12月16日に阿波観光ホテルに於いて354-D地区文化交流



流派遣生オリエンテーションが行われました。まず、韓国人通訳「伊妍和」さんより「韓国事情について」と題してのお話をして頂きました。当日は派遣生・派遣生保護者・クラブ担当者・8R・9R・RC・そしてキャビネットより合わせて25名の参加のもとに行われました。持参するお土産等についての質問等もあり和やかな中にも充実したオリエンテーションでありました。

◎12月23日はいよいよ出発の日であります。高松空港に午後4時に集合して出発式を行いました。木内千春ガバナー・松前龍宗前ガバナーより激励の挨拶があり、派遣生を代表して高橋瑞穂(西條LC)さんより出発に際してのメッセージが述べられました。

◎帰国の12月28日は定刻の4時55分到着をしましたので5時30分より解散式を行いました。まず保護者を代表して荒瀬孝之元ガバナーより謝辞が述べられ、続いて木内千春ガバナーが派遣生の一人一人と硬い握手を交わして慰労をされました。そして8月の受入れ事業と派遣事業の成功を祝して市村通夫レオ特別委員長の音頭で全員で万歳三唱して閉会をしました。

◎今回派遣された高校生・大学生は滞在中の6日間354-D地区のキャビネットの皆様、ホームステイ先のファミリー、8月に日本(徳島)に来られた大学生の皆様方の暖かい心のこもった歓迎を頂いて派遣された6名が揃って「帰りたくない」、「もっと滞在したい」、「また訪問したい」と述べ一層親密なる関係が築かれた訳であります。日本と朝鮮半島の2000年に亘る歴史を振り返って見ると反目と戦乱の歴史もありましたが本年は交流と善隣の歴史であります。354-D地区(韓国)と336-A地区(日本)のライオンズクラブが行う交流事業の素晴らしさを更なる輪を広げ友好の絆を一層ひろめようではありませんか。

2R-4Z 西条ライオンズクラブ

越智 颯くんの日記

12月23日

今日は久しぶりの飛行機に乗って初めての韓国に来了。

飛行機が40分遅れたにもかかわらず、派遣先のライオンズクラブの人、ホームステイ先の人が、笑顔で快く迎えてくれた。そして、遅くなったにもかかわらず、晩ご飯を用意してくださっていた。プルコギだった。日本では食べたことのない味だった。

僕は米が大好きなのだが、こちらの人には1杯が普通だと見てとても驚いた。





12月24日

今日はライオンズクラブの会みたいなのがあった。その後で昼食があり、まさかのまた肉で、少々焦った。その後、軽くショッピングをして、かなりでかいタワーにロープウェイで行った。まだ雪がかなり残っていて、テンションが上がった。夕焼けがキレイで、夜景も最高だった。

そして、夕食は、ライオンズクラブの方々が、カルビをたべさせてくれた。相当デカかった。クリスマスイブで、とても人が多い一日だった。



12月25日

今日は、日本でいう、天王寺みたいな所に行った。かなり年期の入った建物がたくさんあり、寒さのせいで、池が凍っていて、おもしろかった。昼からは、韓国のうどんを食べた。正直薄味すぎて、お粥みたいな感じだった。

その後、ショッピングに行った。僕は時計を持って行くのを忘れていたので、時計だけ買った。そして、川の端の道を通り、スケートリンクを見に行った。夕食はチヂミでかなり旨かった。その夜に、僕と向くと、東條さんと、はばくんでバッテリーセンターに行ったり、カラオケに連れて行ってもらったりした。かなり充実していた1日だった。



12月26日

今日は、相当高い、確か63ビル？という所に行った。高い所があまり好きじゃない僕は、足がすくんで仕方がなかった。スケートもしに行った。スケートはかなり難しかった。慣れない筋肉をかなり使ってとても足がつりそうだった。

昼からは、ショッピングに行ってお土産などを買った。インスタントラーメンの所は、真っ赤でとてもビックリした。夕食が終わった後、今度はみんなでカラオケに行った。とても楽しかった。

その後、フライドチキンをみんなで食べに行き、テハさんの家へ帰った。いろいろな体験をした1日だった。



12月27日

今日は、博物館系のところに行った。僕と向くんはさほど興味がなかったのだが、かなり広かったので、かなり歩いた。そして、美術館に行き、昼食は、トッポギを食べた。日本でお餅を長丸にした感じだった。つけどれは、韓国に来て、一番辛かったかもしれないくらいすごかった。

昼からは、美術館に行き、ショッピングに行った。今日は、はばちゃんの誕生日だったので、みんなで財布を買った。夕食後にはばちゃんのサプライズ誕生日会をした。とても嬉しそうで、自分も嬉しかった。最終日に、とても楽しかった。まだ韓国に居たいという、名残惜しさもあった。テハさん宅に帰ってきて、たくさん話した。明日は帰国なので、精一杯の感謝を伝えたい。



松山つばきライオンズクラブ



フリーマーケットの実施

毎年11月3日(祝)に松山門前まつりがロープウェイ街で開催されます。当クラブもこのコーナーを設け、余剰品の販売を行っています。低価格で品質もよく品ぞろえも豊富でよくこんでもらっています。40万円近くの収益も魅力です。当日は3万人前後の人々が賑わっています。

継続事業の他に今年は特別な奉仕がありました。クラブ会員のご主人様が亡くなられ、献眼をして下さいました。熱き心は私たちの胸に深く刻まれました。

私たちクラブ会員は、7月の例会で100%の出席率を達成し、よろこびをわかち合いました。この実績をもとに今後更なる会員間の結束をはかり、地域に根ざした意義ある奉仕を続け、女性らしさの追求でパワーアップして参りたいと思っています。



体験日本の味わい

国際交流の一環として留学生とクラブ会員で交流し、日本文化を理解していただく催しを行いました。松山城二の丸庭園のお茶室で抹茶を立てたり、おにぎりを作ったりの体験をしていただきました。また着物の着つけは男女ともに喜ばれ、ふるさとの両親に贈りたいと写真に納めていました。



松山つばきライオンズクラブ

会長 近藤千鶴子

松山つばきライオンズクラブは今年で結成24年、平均年齢70歳の会員で構成されています。現在もチャーターメンバーが多く在籍されており相互理解のもと尽力されています。

会長スローガン「愛のバトンで未来へつなごうウィサーブ」のもと以下の1〜3の継続事業を行っています。



第10回語り伝えたい 美しい日本語暗唱コンテスト

第10回語り伝えたい美しい日本語暗唱コンテストは、コミュニケーション力が弱くなりつつある現在において、私たちが大切にしたい「言葉の文化」を世代をこえて語り伝えていくことを趣旨としています。このコンテストは11月3日にCATVで放送されました。出場した生徒さんの中には、現在教師となつて指導されている方もおられるとか、嬉しい限りです。コンテストに出場した経験は自信となり心の糧となつて将来きつと役に立つと信じています。



宇和島市指定有形文化財

金茶糸威五枚胴具足

公益財団法人宇和島伊達文化保存会 所蔵



きんちゃいとどしごまいどうぐそく
金茶糸威五枚胴具足

伊達政宗所用と伝えられるこの具足は、大正五年（一九一六）宇和島伊達家が入手したといわれ、当世具足の特徴を数多く伝えている。

この具足は、桃山末期か江戸初期に、明珍派の甲冑師によって製作されたと推定される。弦月形の前立を、下部に桧垣という金物を据えた一七間筋兜鉢に配し、胴は黒塗五枚胴で、別名、仙台（雪下）胴ともいう。それに四段下りの袴、五段下りの喉輪、九間五段下りの草摺、五段下りの佩楯、これらの黒塗小札を茶糸に威し、

小田籠手と大立拳臙当を備えている。また、動きやすいように九間の草摺にし、格子鎖と総鎖を併用した右籠手、総鎖を使用した左籠手、五枚胴のそれぞれと兜鉢の左右、後方の三か所に残る鉄砲の試し打ちのあることは注目すべき点である。

このように、実戦を目的とした具足であり、技術の優秀さと、戦国武将の配慮の深さを物語っている。

なお、革所には花と獅子の染革を、隅を菖蒲の染革と水引で包み、牡丹の透し彫りをほどこした金物を

据え、鉾も堅三引両と仙台笹の紋鉾、小桜鉾の三種類を数多く使用し、菱縫には緋糸を、家地には鳳凰と竜に桐をあしらった紺地の錦を用いるなど華麗さも備えている。

※今年は伊達政宗の長子で宇和島藩祖の伊達秀宗が宇和島入りしてちょうど四〇〇年の節目を迎えます。宇和島では、今年三月から十一月まで、宇和島伊達400年祭が開催され、宇和島市立伊達博物館での特別展（春期・夏期・秋期）をはじめ、各所でさまざまなイベントが企画されています。当具足の実物も同博物館で六月中旬までご覧いただけます。この機会にぜひ宇和島へお越しください。



宇和島伊達家 家紋



宇和島市文化財保護審議会編
『宇和島の自然と文化(五版)』
(平成7年、宇和島文化協会発行)
29、30頁より

336-A地区会員現況

(入退会は累計・2014年10月度～2014年12月度)

R	Z	クラブ名	期 首	当月末	増 減
1	1	松山ホスト	36	34	-2
		久 万	26	25	-1
		松 山 東	48	52	4
		砥 部	50	51	1
		松山つばき	54	55	1
		松山城山	43	43	0
	2	松山道後	55	58	3
		伊 予	50	48	-2
		松 山 西	70	73	3
		松 前	21	21	0
		松 山 北	29	35	6
		松山湯築	63	65	2
	3	松山城東	23	23	0
		北 条	18	19	1
		松山中央	110	113	3
		松 山 南	37	38	1
		東 温	31	31	0
	リジョン小計	松山金亀	41	41	0
		松山白鷺	64	67	3
		リジョン小計	869	892	23
2	1	新 居 浜	53	54	1
		新居浜中央	37	37	0
		新居浜別子	36	36	0
		新居浜ひうち	26	30	4
	2	今 治	68	68	0
		今治中央	60	59	-1
		今 治 東	56	54	-2
		今治くるしま	48	47	-1
	3	伊予三島	35	36	1
		川 之 江	47	64	17
		伊予土居	74	72	-2
		四国中央法皇	37	36	-1
	4	川之江中央	27	29	2
		西 条	66	67	1
		東 予	33	33	0
		伊予小松	12	12	0
	リジョン小計	西条石鎚	65	70	5
		リジョン小計	780	804	24
3	1	大 洲	45	46	1
		宇 和	42	46	4
		伊予長浜	12	13	1
		内 子	52	49	-3
		野 村	23	22	-1
	2	八 幡 浜	41	41	0
		三 瓶	18	18	0
		伊 方	38	41	3
		保 内	39	39	0
		八幡浜みなと	40	41	1
	3	宇 和 島	30	30	0
		伊予吉田	32	32	0
		宇和島中央	16	14	-2
		南 宇 和	42	42	0
		鬼 北	36	36	0
	リジョン小計		506	510	4

R	Z	クラブ名	期 首	当月末	増 減
4	1	高 松	38	40	2
		小 豆 島	42	44	2
		小豆島東	31	32	1
		高松葵	26	26	0
		高松南	25	23	-2
		高松東	59	38	-21
	2	高松西	40	36	-4
		直 島	28	28	0
		八 栗	48	48	0
		高松源平	34	38	4
	3	高松中央	53	48	-5
		東かがわ	81	70	-11
		長 尾	66	81	15
		志 度	87	82	-5
	4	三木さぬき	28	50	22
		高松グリーン	21	20	-1
		高松玉藻	55	54	-1
		高松栗林	101	100	-1
	リジョン小計	高松屋島	68	72	4
		高松紫雲	71	75	4
		高松空港	39	45	6
5	1	高 松 北	35	37	2
		丸 亀	106	111	5
		坂 出	56	59	3
		坂出白峰	117	114	-3
	2	綾 歌 郡	22	22	0
		丸亀京極	72	71	-1
		う た づ	51	51	0
		坂出シニア	55	55	0
	3	観 音 寺	52	47	-5
		善 通 寺	45	43	-2
		多 度 津	62	64	2
		三 豊	49	49	0
	リジョン小計	こんびら	71	66	-5
		観音寺中央	41	41	0
		リジョン小計	799	793	-6
6	1	高 知	52	53	1
		高知柏	60	58	-2
		高知東	52	75	23
		高知北	49	49	0
		高知桜	58	57	-1
		高知ときみずき	15	15	0
	2	須 崎	37	37	0
		土 佐	48	49	1
		伊 野	25	26	1
		佐川越知	27	27	0
	3	中 土 佐	29	29	0
		四 万 十	49	49	0
		土佐清水	50	50	0
		宿 毛	23	22	-1
	リジョン小計	窪 川	15	17	2
		大 方	31	31	0
		大 正	19	20	1
	リジョン小計		639	664	25

R	Z	クラブ名	期 首	当月末	増 減
7	1	高知 鷹 城	53	54	1
		室 戸	28	30	2
		高知 鏡 川	38	35	-3
		高 知 南	33	34	1
		高知よさこい	46	46	0
		土佐国府	23	22	-1
	2	高知黒潮	56	60	4
		高 知 桂	54	54	0
		高知中央	35	50	15
		高知安芸	32	33	1
		高知りょうま	47	46	-1
	3	土佐山田	15	13	-2
		土佐本山	18	26	8
		南 国	27	29	2
		土佐香南	29	29	0
	大 豊	6	6	0	
	リジョン小計	540	567	27	
8	1	徳 島	19	22	3
		小 松 島	21	21	0
		阿 南	48	47	-1
		徳 島 南	24	24	0
		阿波勝浦	26	23	-3
		徳島マリンピア	86	81	-5
		徳島すだち	73	85	12
		徳島シニア	15	13	-2
	2	徳島中央	29	25	-4
		石 井	67	65	-2
		徳島城山	49	51	2
		上 板	35	36	1
		徳島吉野川	34	36	2
		土 成	31	29	-2
徳島やまもも	23	23	0		
リジョン小計	580	581	1		
9	1	徳島眉山	29	28	-1
		鳴 門	43	53	10
		藍 住	37	39	2
		板 野	53	67	14
		松茂徳島空港	21	20	-1
		鳴 門 西	27	31	4
		北 島	47	50	3
	2	阿波池田	35	34	-1
		脇	41	39	-2
		三 加 茂	19	19	0
	3	徳 島 西	13	22	9
		鴨 島	27	25	-2
		阿 波	26	26	0
		神 山	18	19	1
徳 島 藍	36	35	-1		
リジョン小計	472	507	35		
地区合計			6,261	6,405	144



物故会員

謹んでお悔やみ申し上げます



①中田 正義 71歳
②3R-3Z
宇和島LC
③平成3年7月
④平成26年11月9日



①山本 守恒 34歳
②7R-3Z
土佐香南LC
③平成24年6月
④平成26年11月7日



①三原 正 80歳
②5R-1Z
丸亀京極LC
③平成3年10月
④平成26年10月13日



①朝雲 恭道 65歳
②3R-3Z
宇和島LC
③平成7年11月
④平成26年10月10日



①福岡 英二 74歳
②1R-1Z
松山ホストLC
③昭和62年10月
④平成26年12月12日



①藍原美登男 89歳
②6R-1Z
高知柏LC
③昭和54年9月
④平成26年11月24日



①五島 一明 82歳
②1R-3Z
松山中央LC
③昭和44年10月
④平成26年11月22日



①滝口 良一 82歳
②8R-1Z
阿波勝浦LC
③昭和52年6月
④平成26年11月16日



①中村 一之 63歳
②2R-2Z
今治中央LC
③平成18年3月
④平成26年12月21日



①塚田 一義 83歳
②4R-2Z
高松西LC
③昭和49年12月
④平成26年12月20日



①為実 邦義 86歳
②9R-2Z
阿波池田LC
③平成元年1月
④平成26年12月17日



①山下 泰司 70歳
②4R-3Z
長尾LC
③平成13年11月
④平成26年12月13日



①大西 一郎 59歳
②9R-2Z
阿波池田LC
③平成11年12月
④平成27年1月25日



①眞鍋 勇 87歳
②6R-2Z
伊野LC
③平成元年4月
④平成27年1月18日



①石橋 宏寿 90歳
②9R-1Z
北島LC
③平成2年1月
④平成27年1月2日

①氏名・享年 ②LC名 ③入会年月日 ④没年月日

編集後記

新春にあたり、会員皆様方のご健勝・ご多幸を祈念致しますと共に今年の干支「未」に因んで、災害のない穏やかな一年であることを願ってやみません。第3号には元地区ガバナーをはじめ地域に密着したユニークな「各クラブアクティビティ紹介」等たくさんのご寄稿がありました。ありがとうございました。

(H・Y)



2015 ホノルル国際大会

2015年ライオンズクラブ年次国際大会開催地は、ハワイ・ホノルルです！
オンライン登録も始まっていますので、ぜひお早めにご登録ください！



ライオンズ会員の皆様へアロハ！第98回ライオンズクラブ国際大会は2015年6月26日～30日に米国ハワイ州の美しい街ホノルルで開催されます。

ホノルルは、まさにパラダイスです。ホノルル周辺には100以上のビーチが存在します。その数は地球上の他のどの街にも優ります。ワイキキの白い砂浜でリラックスするもよし、ダイヤモンド・ヘッド・クレーターでの魅惑的なハイキングもよし、ワイメア滝やマウナウィリ滝などの素晴らしい滝を巡るもよし、お勤めの人気スポーツが数多くあります。

また、ホノルルの歴史上の重要スポットもぜひ訪れてください。新たに改装されたアリゾナ記念館は、第二次世界大戦の始まりと終わりを示す象徴そのものです。また、パール・ハーバー・パークには、身の引き締まる思いと驚きを感じさせる、決して忘れることのない歴史的一幕が垣間見えます。



今日の絶え間なく変わる世界で、ありとあらゆる立場のライオンが、恵まれない人々の人生に触れる決意を固めて「希望の光」となっています。国際大会は、1年に一度会員が一堂に会して、LCIの将来像を形成する基本ともいべき現在の重要事項について話し合う中で、新しい友情を育む機会になっています。

今から計画を立ててください。そして生涯心に残る経験を共に積もうではありませんか。

■ 総合情報

- 国際協会ホームページ
<http://www.lionsclubs.org/JA/news-and-events/international-convention/index.php>
- 大会Facebookページ(英語)
<https://www.facebook.com/lcicon>



We Serve

2014～2015年
ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 徳島キャビネット
〒779-0105 徳島県板野郡板野町大寺字王子111-2
TEL (088)637-5011
FAX (088)637-5012
E-mail: lc336a-tokusima@iaa.itkeeper.ne.jp